

3.9.3 研究推進部門 国際推進グループ

グループリーダー 磯部俊吉 ほか8名

グローバルな連携活動の推進

【概要】

海外の研究機関との共同研究、人材交流など、グローバルな連携活動を推進し、ICT分野におけるイノベーションの創出により、社会に貢献している。

情報通信分野を取り巻く環境のグローバル化の進展等に鑑み、海外における国際機関、政府機関、大学及び研究機関との国際連携を推進するため、各種国際会議やイベント等への参加、NICTの活動等に関する情報発信、情報の収集を定常的に行うとともに、フォーラム等の開催、共同研究覚書の締結を行っている。また、海外研究者の招へい、国際研究集会助成などによる人材交流の促進を図っている。

アジア、北米及び欧州地域の各々にある拠点も活用し、研究開発に係る国際的な取り組みを積極的に行っている。海外拠点においては、国際機関、政府機関、大学及び研究機関との国際連携を推進するため、各種国際会議等への参加、NICTの活動等に関する情報発信、現地情報の収集を定常的に行うとともに、フォーラムの開催などを実施している。

【平成22年度の成果】

(1) 国際連携活動の推進

- ① ローマ第三大学（イタリア）、マラヤ大学（マレーシア）、オークランド工科大学（ニュージーランド）、インド工科大学ハイデラバード校（インド）、ダブリンシティ大学次世代ローカリゼーションセンター（アイルランド）、イタリア情報通信研究機構（イタリア）、ヘリオット・ワット大学（スコットランド）、ブライトン大学（イギリス）、ルイジアナ州大学計算技術総合センター（米国）との間で9件の包括的研究協力協定（MOU）を新たに締結した。また、タイ国立電子コンピュータ技術センター（タイ）、インディアナ大学（米国）、タイ教育省高等教育委員会（タイ）との間で3件のMOUの再締結を行った。
- ② 外部有識者による国際交流プログラム審査委員会の審査を経て、3件の国際研究集会への助成及び3名の海外研究者（チリ、フランス、ドイツ）を国内研究機関へ招へいした。
- ③ インターンシップ研修員の学生を9名（タイ4名、米国3名、フランス1名、中国1名）受け入れた。
- ④ 第3回日中情報通信フォーラム及び第8回NICT-ETRI共同ワークショップを東京において、アジア情報通信技術フォーラム（AFICT）を、タイのバンコク、シンガポール、ベトナムのハノイにおいて主催した。
- ⑤ インドの研究機関との交流を深めるために、調査団を編成し、研究動向、共同研究の可能性等について現地調査を行った。また、東京都内において、インド工科大学ハイデラバード校との間で情報通信研究分野における包括的な研究協力に関する覚書の調印式を行った。
- ⑥ タイ国立電子コンピュータ技術センター（NECTEC）所長、豪州国立情報通信研究所（NICTA）所長、インドネシア通信情報大臣、シンガポール科学技術研究開発庁（A*STAR）長官など多くのVIPが来訪した。
- ⑦ インドとの連携強化のためNICT内に国際連携ファンドを設立し、共同研究等6件の取り組みを助成した。

(2) 海外のICT分野の研究開発動向等に関する調査

海外拠点で収集、調査を行った北米、欧州、東南アジアなどのICT動向を所内に配信するとともにWebで公開を行った。

(3) 海外拠点における国際連携活動

- ① アジア研究連携センター：
 - ア タイ自然言語ラボラトリー及びシンガポール無線通信ラボラトリーの運営を支援した。東南アジア地域における自然言語講習会ADD6の開催を支援した。

- イ NICT の各研究センター・部門の東南アジア展開を支援した。日タイ間の JGN2plus 実験や超高速インターネット衛星「きずな」(WINDS) 実験を支援した。3次元音源再生システムのタイ国家最高芸術家ホール常設展示を支援した。
- ウ 泰日工業大学からのインターンシップ研修員の受け入れ調整、アジア情報通信技術フォーラム (AFICT) 開催支援を行った。タイ科学技術博に出展した。
- エ 東南アジア地域における ICT の研究開発関連情報を定期的に報告した。また、各国における ICT に関する研究開発政策等の動向調査を実施した。

② ワシントン事務所：

- ア 米国政府系研究機関関係者、官民の研究者を招へいして、大規模データ分析、自動コンテンツ分析・抽出技術及びそのビジュアル化技術をテーマに第7回日米 ICT R&D フォーラムを開催した。
- イ ワイヤレス技術及び大規模データストレージ分析等に係る米国の研究開発・技術開発動向の調査を行い、Web サイト上で公表した。
- ウ 国際会議、シンポジウム、セミナーなど多数の会議に参加し、情報収集、意見交換等を行うとともに、アメリカ国立科学財団 (NSF) やアメリカ国立標準技術研究所 (NIST) 等関係機関との連携を強化した。

③ パリ事務所：

- ア 欧州委員会が主催する欧州最大級の ICT イベント「ICT2010」に参画し、国際協力セッションにおいて NICT の活動を紹介した。
- イ NICT と欧州委員会が主催した第3回日欧新世代ネットワークシンポジウムの運営を支援した。
- ウ 研究者や行政機関等の多くの関係機関に対しヒアリングを実施するとともに、欧州主要国における ICT 関連行政組織及び公的研究機関の現状調査や、東欧など欧州新興国における ICT 実情調査等を行い、Web サイト上で公表した。



インド工科大学ハイデラバード校との MOU 調印式
(2010年9月29日、東京)



インドネシア通信情報大臣来訪
(2010年11月1日)



タイ国立電子コンピュータ技術センターとの MOA 調印式
(2010年11月22日、バンコク)



第7回「日米 ICT R&D フォーラム」
(2011年3月7日、ワシントン DC)



アジア情報通信技術フォーラム
(2011年3月11日、ハノイ)